

## 質問

## 不登校対策の取り組み強化は

## 町長

町支援センターを設置する



小田川 謙一 議員

教育支援センターとしての利用が予定されている  
「横田コミセン・こども図書館」

## 再質問

ICT等を利用して学びたい児童生徒が学べる環境

ラザ仁多において、週に一日程度、隔週でどちらかの施設を開きながら利用状況を把握する。小学校再編統合で空き校舎となる小学校を活用することを視野に、町教育支援センターを本格的に開設することを想定している。

事だ。方法を選ぶことが大

## その他質問

- 性について
- ・関係人口拡大策は
- ・投票環境の整備を
- ・主権者教育の必要

今後のふるごと  
教育は

## 質問

国は誰一人取り残さない学びの保障に向けた不登校対策についての取組みを強化するためにCOCOLOプランを実施している。町においても、この取組みを進めるべきと考えるが、今後の不登校対策に対する町長の見解は。

町長 現在、奥出雲町においては、雲南市教育支援センターを協定に基づき利用している。実際に通つているのは、登録者の半数程度だ。そこで奥出雲町教育支援センターを開設し、さらに不登校児童が安心して通える場の設定に努める。計画

阿井小学校の「ふるさと学習」  
(川東水路についての説明)

## 質問

町内小学校が二校に統合後のふるさと教育はどのように取り組むのか。

教育長 奥出雲町としては、教員の負担軽減のために、教員の適正配置、地域との適正配置、地域とのネットワークの強化を通して教員をサポートする体制を整えることが大事と考える。地域愛に基づくふるさと教育なので、大切にしたい

を早期に立ち上げるべきではないか。

教育長 ICTを使う上では、専門の方も必要だ。現在、専門員の配置であるとか、不登校専門員の配置、また指導主事等々を配置しながら、

今後進める必要があると思う。ご家族、本人、学校が最適な